

平成 30 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 29 年 11 月 13 日

上場会社名 オイシックスドット大地株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3182 URL <http://www.oisixdotdaichi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 宏平
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部本部長 (氏名) 山中 初 (TEL) 03(6867)1149
 四半期報告書提出予定日 平成 29 年 11 月 14 日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30 年 3 月期第 2 四半期	18,935	76.7	237	△12.3	635	62.5	93	△50.2
29 年 3 月期第 2 四半期	10,718	—	270	—	391	—	187	—

(注) 包括利益 30 年 3 月期第 2 四半期 93 百万円 (△50.0%) 29 年 3 月期第 2 四半期 187 百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30 年 3 月期第 2 四半期	11.68		11.41	
29 年 3 月期第 2 四半期	31.94		30.54	

(注) 平成 29 年 3 月期第 1 四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 29 年 3 月期第 2 四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

EBITDA は、営業利益+減価償却費+のれん償却額としています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
30 年 3 月期第 2 四半期	百万円 15,456	百万円 9,266	% 59.9
29 年 3 月期	15,051	9,147	60.8

(参考) 自己資本 30 年 3 月期第 2 四半期 9,264 百万円 29 年 3 月期 9,146 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
29 年 3 月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
30 年 3 月期	—	0.00			
30 年 3 月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 30 年 3 月期の連結業績予想 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		EBITDA		親会社株主に帰属する当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	38,000	65.1	670	△11.0	1,390	39.5	390	△24.3	49.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

EBITDA は、営業利益+減価償却費+のれん償却額としています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	8,013,289株	29年3月期	7,937,989株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	549株	29年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	8,000,875株	29年3月期2Q	5,872,557株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策などの効果もあり緩やかな景気回復基調で推移したものの、個人消費におきましては、依然として先行きが不透明であり、お客様の選別の目が一段と厳しくなっております。

近年のEC業界においては、スマートフォンの一層の普及やSNS等を活用した販売経路の多様化が進む中で、共働き世帯の増加や健康志向の上昇など、ライフスタイル・価値観の変化に伴う消費者ニーズも多様化しております。また、当社の主たる事業領域である安全性に配慮した食品業界においては、安心・安全に対する消費者の意識が引き続き高い状況にあります。

このような環境の中、当社は、平成29年3月31日を効力発生日とした株式交換により株式会社大地を守る会を子会社化しております。当社グループでは、成長市場である食品EC市場において、既存サービスであるOisixと、大地を守る会の両ブランドの独自性・競争優位性の確立に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,935,900千円（前年同期比76.7%増）となりました。利益面では、株式会社大地を守る会との経営統合に伴う一時的な費用（本社移転等に係る費用）の発生や、のれん償却額の増加などもあり、営業利益は237,551千円（前年同期比12.3%減）、経常利益は259,560千円（前年同期比9.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は93,473千円（前年同期比50.2%減）となりました。

なお、株式会社大地を守る会の子会社化に伴い、第1四半期連結会計期間より、同社及び同社の子会社である株式会社フルーツバスケットの四半期損益計算書を四半期連結損益計算書に含めております。

各セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。なお、当社グループは前連結会計年度末よりセグメント情報を記載しておりますので、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

①宅配事業（Oisix）

インターネットを通じて主に食品・食材の直販を行う宅配事業（Oisix）においては、定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」会員数が、前連結会計年度末（平成29年3月末）の137,359人から、当第2四半期連結会計期間末（平成29年9月末）には155,827人へ増加しており、計画を上回るペースで推移しております。

平成25年7月より開始した、ワーキング・マザーなど忙しい女性の方向けに、安心・安全な献立が20分で完成するプレミアム時短サービス「KitOisix」を毎週お届けする定期宅配コース「KitOisix献立コース」の会員が、平成29年9月には6.2万人を突破しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	11,470,498千円
セグメント利益	1,392,019千円

②宅配事業（大地を守る会）

カタログやインターネットを通じて主に食品・食材の直販を行う宅配事業（大地を守る会）においては、新規会員獲得のための販売促進費を抑制し、サービスの進化に注力したこともあり、会員数が、前連結会計年度末（平成29年3月末）の46,145人から、当第2四半期連結会計期間末（平成29年9月末）には43,687人へ減少しておりますが、概ね計画通りに推移しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	5,487,173千円
セグメント利益	903,669千円

③その他事業

ソリューション事業においては、当社が保有するアセット・ノウハウを活用した三温度帯（冷凍・冷蔵・常温）の物流機能等を提供するサービスや、当社の宅配事業のノウハウを生かしたEC実行支援サービスを展開しており、引き続き新規クライアントの開拓に注力しております。

店舗事業においては、中規模店として平成26年1月にオープンした「Oisix CRAZY for VEGGY アトレ吉祥寺店」を平成29年9月に閉店しております。同店においては、コンセプト型店舗としてのプロモーション効果など所期の目的を達したことから、今後は、新たな業態の店舗開発や、他社が運営する実店舗型スーパーにOisix専用コーナーを設ける「Shop in Shop」の取り組みに引き続き注力していく予定であります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

売上高	2,163,602千円
セグメント利益	365,473千円

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して405,827千円増加し、15,456,997千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して379,733千円増加し、11,067,575千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加157,909千円、商品及び製品の増加111,137千円、未収入金の増加52,663千円、売掛金の増加44,506千円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して26,093千円増加し、4,389,421千円となりました。これは、有形固定資産の減少71,869千円、無形固定資産の減少123,306千円、投資その他の資産の増加221,268千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して287,217千円増加し、6,190,609千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して481,896千円増加し、5,815,456千円となりました。これは主に、買掛金の増加185,589千円、その他の増加302,028千円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して194,679千円減少し、375,152千円となりました。これは主に、資産除去債務の減少33,373千円、その他の減少164,892千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して118,609千円増加し、9,266,388千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益93,473千円によるものであります。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、5,366,806千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、703,947千円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益167,337千円、減価償却費204,474千円、のれん償却額193,705千円、仕入債務の増加額185,589千円、未払費用の増加額173,355千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、549,812千円となりました。これは主に敷金及び保証金の差入による支出349,464千円、無形固定資産の取得による支出131,503千円、関係会社株式の取得による支出34,990千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により得られた資金は、3,280千円となりました。これは主に、新株予約権の権利行使に伴う株式の発行による収入25,742千円、長期借入金の返済による支出18,006千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月11日付「平成29年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,247,897	5,405,807
売掛金	3,124,366	3,168,872
商品及び製品	699,964	811,101
仕掛品	7,657	6,078
原材料及び貯蔵品	83,408	124,862
未収入金	1,354,023	1,406,686
その他	288,105	267,962
貸倒引当金	△117,580	△123,796
流動資産合計	10,687,842	11,067,575
固定資産		
有形固定資産	785,210	713,341
無形固定資産		
のれん	1,842,319	1,696,795
その他	793,230	815,447
無形固定資産合計	2,635,549	2,512,242
投資その他の資産	942,568	1,163,837
固定資産合計	4,363,328	4,389,421
資産合計	15,051,170	15,456,997
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,632,567	2,818,156
1年内返済予定の長期借入金	6,012	6,012
未払金	1,925,973	2,084,463
未払法人税等	198,804	92,950
賞与引当金	69,876	690
ポイント引当金	100,922	117,155
店舗閉鎖損失引当金	10,125	—
資産除去債務	46,819	51,540
その他	342,459	644,488
流動負債合計	5,333,560	5,815,456
固定負債		
長期借入金	47,308	44,302
役員退職慰労引当金	2,100	2,700
退職給付に係る負債	18,809	24,802
資産除去債務	106,172	72,799
その他	395,441	230,548
固定負債合計	569,832	375,152
負債合計	5,903,392	6,190,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	929,948	943,034
資本剰余金	4,944,329	4,957,413
利益剰余金	3,272,882	3,366,355
自己株式	—	△1,202
株主資本合計	9,147,160	9,265,600
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△835	△838
その他の包括利益累計額合計	△835	△838
非支配株主持分	1,453	1,625
純資産合計	9,147,778	9,266,388
負債純資産合計	15,051,170	15,456,997

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
売上高	10,718,286	18,935,900
売上原価	5,463,310	10,090,709
売上総利益	5,254,975	8,845,190
販売費及び一般管理費	4,984,082	8,607,638
営業利益	270,893	237,551
営業外収益		
受取利息	19	211
受取配当金	4,230	4,452
受取補償金	3,008	3,625
持分法による投資利益	1,925	—
その他	7,233	20,961
営業外収益合計	16,416	29,251
営業外費用		
支払利息	11	142
株式交付費	730	428
為替差損	984	1,320
持分法による投資損失	—	1,274
その他	9	4,076
営業外費用合計	1,736	7,242
経常利益	285,573	259,560
特別損失		
退職給付制度改定損	—	92,222
特別損失合計	—	92,222
税金等調整前四半期純利益	285,573	167,337
法人税、住民税及び事業税	95,424	53,865
法人税等調整額	2,412	19,826
法人税等合計	97,837	73,691
四半期純利益	187,735	93,645
非支配株主に帰属する四半期純利益	138	172
親会社株主に帰属する四半期純利益	187,596	93,473

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日）
四半期純利益	187,735	93,645
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△584	△3
その他の包括利益合計	△584	△3
四半期包括利益	187,151	93,642
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	187,012	93,469
非支配株主に係る四半期包括利益	138	172

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	285,573	167,337
減価償却費	102,475	204,474
退職給付制度改定損	—	92,222
のれん償却額	17,755	193,705
貸倒引当金の増減額（△は減少）	4,999	6,215
賞与引当金の増減額（△は減少）	—	△69,186
受取利息及び受取配当金	△4,249	△4,502
支払利息	11	142
為替差損益（△は益）	259	2
持分法による投資損益（△は益）	△1,925	1,274
売上債権の増減額（△は増加）	△44,885	△44,506
たな卸資産の増減額（△は増加）	△29,178	△151,012
仕入債務の増減額（△は減少）	33,356	185,589
未払費用の増減額（△は減少）	9,515	173,355
その他	2,459	82,857
小計	376,168	837,972
利息及び配当金の受取額	3,383	3,587
利息の支払額	△11	△142
法人税等の支払額	△155,906	△137,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	223,633	703,947
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△30,515	△13,524
無形固定資産の取得による支出	△130,210	△131,503
投資有価証券の取得による支出	△13,170	—
関係会社株式の取得による支出	—	△34,990
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△69,074	△12,367
敷金及び保証金の差入による支出	—	△349,464
その他	△3,263	△7,962
投資活動によるキャッシュ・フロー	△246,234	△549,812
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△18,006
株式の発行による収入	30,679	25,742
自己株式の取得による支出	—	△1,202
その他	4	△3,253
財務活動によるキャッシュ・フロー	30,683	3,280
現金及び現金同等物に係る換算差額	△843	△6
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	7,238	157,409
現金及び現金同等物の期首残高	2,724,898	5,209,396
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,732,137	5,366,806

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

当社グループの事業は消費者向けに主に食品の宅配を行うEC事業とその他事業から構成されておりますが、EC事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、EC事業以外の事業について重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宅配事業 (Oisix)	宅配事業 (大地を守る 会)	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,470,498	5,487,173	16,957,671	1,978,228	18,935,900	—	18,935,900
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	185,373	185,373	△185,373	—
計	11,470,498	5,487,173	16,957,671	2,163,602	19,121,274	△185,373	18,935,900
セグメント利益	1,392,019	903,669	2,295,689	365,473	2,661,162	△2,423,610	237,551

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソリューション事業・店舗事業・卸事業等を含んでおります。

2. 「調整額」のセグメント利益における主な内容は、固定人件費及び各事業セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前第2四半期連結累計期間においては、EC事業以外の事業について重要性が乏しいことからセグメント情報の記載を省略しておりましたが、平成29年3月31日に株式会社大地を守る会の株式を取得し、株式会社大地を守る会及びその子会社を連結の範囲に含めたことにより、報告セグメント「宅配事業（大地宅配）」を追加し、前連結会計年度より、セグメント情報を開示しております。

「宅配事業（大地宅配）」セグメントの新設に伴い、従前の報告セグメントである「EC事業」については、「宅配事業（Oisix）」へ名称を変更しております。

また、当第2四半期連結会計期間より、従来「宅配事業（大地宅配）」としていたセグメントの名称を「宅配事業（大地を守る会）」に変更しております。セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。